

おもちゃ病院開院します

たいせつに遊んでいたけどこわれちゃった…
思い出がたくさんあるけどこわれちゃった…
そんなおもちゃありませんか？
おもちゃの先生が治療いたします。



(前回、先生は6名、15件受診し3件は入院しました。)

- 日時: 8月22(日)
10:30~15:00 *受付は13:00までです。
- 場所: 若槻コミュニティセンター 三登山ホール
*おもちゃ修理は原則無料ですが、部品代等の費用がかかる場合があります。また、修理できない場合もあります。
- 問合せ先: 090-5435-8210(宮澤)
(ボランティア団体 おもちゃの病院なごの)

ホタルウイーク実施報告

梅雨空を押し2年ぶりに ホタルと再会

令和3年度のホタルウイークが6月26日(土)から7月4日(日)の9日間、土京川の観賞路で実施されました。

昨年度はコロナ感染拡大により緊急事態宣言が全国に発出され、公民館等の公共施設が使用できないため、実行委員会立ち上げの会議が開けずホタルウイークを中止せざるをえませんでした。今年度は来場者にマスク着用・手の消毒をお願いし、更に密集を避けるため観賞路を短縮して奥の仮橋手前で折り返すなどのコロナ対策を講ずれば実施可能と判断し、4月の第一回実行委員会をスタートさせることが出来ました。

梅雨の季節と重なり、連日午後から夕方にかけてにわか雨や雷雨に見舞われましたが、不思議とホタルが舞い始める時刻には雨も上がりホタルも優雅に舞い、多くの



来場者を魅了してくれました。近年は幼いお子さんを連れた若い家族が多く来場しています。幼いときに見たホタルの光の思い出を大切に育ててもらいたいと願っています。

観賞路、駐車場、周辺道路等の警備などで毎晩多くの方々にご苦勞をおかけし、ご協力いただきました。帰り際の来場者から「久しぶりにホタルを見られてよかった」「ホタルをたくさん見せてもらえてありがとう」「毎晩ご苦勞様」などと声を掛けられ疲れを忘れることが出来ました。

因みに今年の実績は以下の通りです。
ホタルは9日間で約900匹、来場者は1,400人弱(但し29日は中止のため来場者のカウントは無し)、募金は2万円弱との結果でした。

コミわかんの全組織・各部会や協力団体の皆様のご協力のもと無事9日間を終えることが出来ました。ご協力いただきましたすべての皆様に感謝申し上げます。

(自然環境部会・ホタルウイーク実行委員会)



若槻地区防災研修会 報告



7月10日(土)若槻地区防災研修会が開催され、本部訓練と講演会を実施しました。

本部設置訓練・情報伝達訓練

若槻地区災害対策本部をコミュニティセンター三登山ホールに設置。本部員が参集し、各区の公民館等との間で、無線機による通信訓練と感度状況の確認を行いました。そして、各区自主防災会が、被災状況報告書をまとめ、本部に提出する訓練を実施しました。



防災講演会 「自分のまちは自分たちで守る」～事前準備と意識改革～

松代地区住民自治協議会顧問である町田修氏の講演「令和元年東日本台風災害に学ぶ」を聴講しました。

突然、前触れもなくやってくる災害。その時、区長として、住民自治協議会として、また住民は、何をすべきか。何ができるか。発災当時区長会長であった講師から、体験に基づく有意義な話を、わかりやすく説明していただきました。

大きな災害では、とかく公的機関へ頼るとともに、不平や不満が溢れ、対策や運営が滞ってしまうこともあるようですが、区長及び住民は「3日間は住民の手で、自力で乗り越える」覚悟を持って取り組むことが大切である。そのためには、地域の防災関係者そして各個人が、事前に、すべきことを想定し、準備をしておくことが大切であることを学びました。(特に、安否確認は、区長や住民の重要な役割として想定すべき。)

この研修を災害対応への取り組みに活かし、地域防災力向上を図っていきたいと思います。(自主防災会連絡協議会)

